

長野県JAバンクにおける 地域密着型金融の 取組状況について (令和4年度)



長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です



©よりぞう

令和5年11月

はじめに

- 長野県JAバンク（長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、長野県2022-2024年度JAバンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んで参りました。
- 令和4年度の実績についてご報告いたします。



目次

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援 ……P.3
2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援 ……P.14
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、
担い手に適した資金供給手法の徹底 ……P.21
4. 地域密着型金融の取組事例について ……P.24

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っています。

農業融資商品の適切な開発・提供

担い手のニーズに応えるための取り組み

JA内部部門間連携の強化

講演会・セミナーの開催

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供①

- 長野県JAバンクは、JA独自の農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和5年3月末時点の農業関係資金（※1）残高は56,555百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金（※2）残高は8,910百万円です。

（※1）農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

（※2）長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取り扱いを行っています。

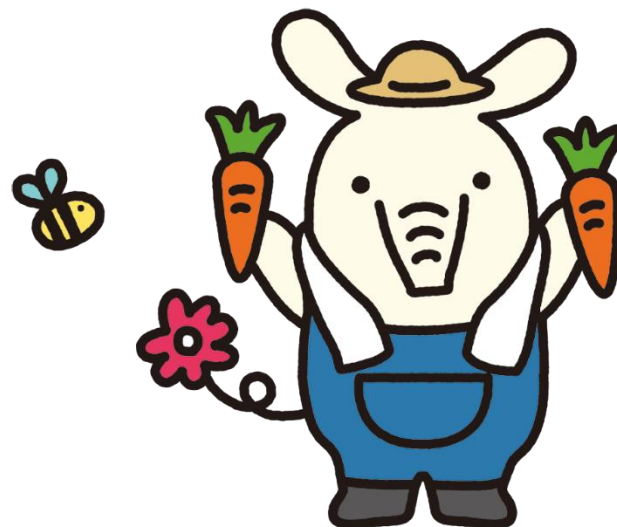
1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供②

■ 営農類型別農業資金残高

令和5年3月末現在（単位：百万円）

農業	36,888
穀作	4,062
野菜・園芸	18,703
果樹・樹園農業	3,745
工芸作物	1
養豚・肉牛・酪農	1,904
養鶏・鶏卵	144
養蚕	1
その他農業（※1）	8,328
農業関連団体等（※2）	19,667
合計	56,555



（※1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられないもの、農業サービス業が含まれています。

（※2）「農業関連団体等」には、JAや厚生連、全農とその子会社等に対する貸出金が含まれています。

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供③

■ 資金種類別農業資金残高

令和5年3月末現在（単位：百万円）	
プロパー資金（※1）	49,833
農業制度資金（※2）	6,721
農業近代化資金	5,628
その他制度資金（※3）	1,094
合計	56,555

（※1）「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものを対象としています。

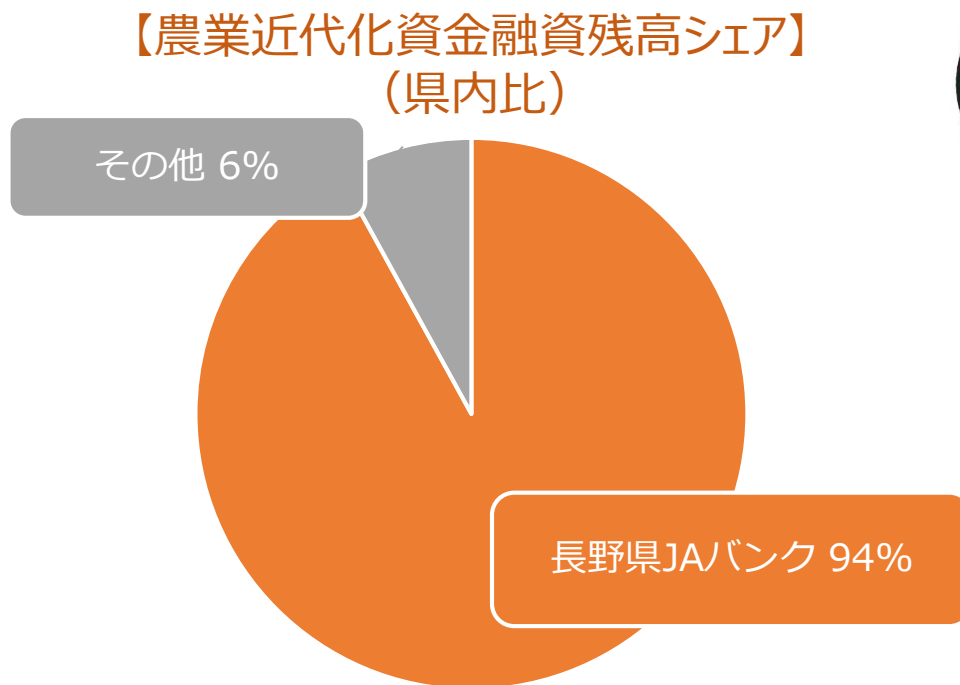
（※2）「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を長野県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。

（※3）「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供④

- 長野県JAバンクの農業近代化資金の取り扱いは、県内トップシェアとなっています。



(令和4年12月末時点)
数値提供：長野県農政部

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み①

- 長野県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取り組みを行っています。
- JAでは、本所・支所の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。
- これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を14JAで41名配置しました。



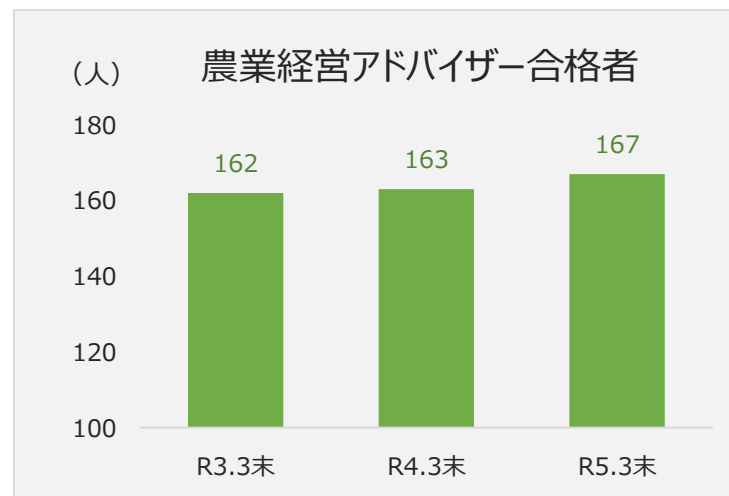
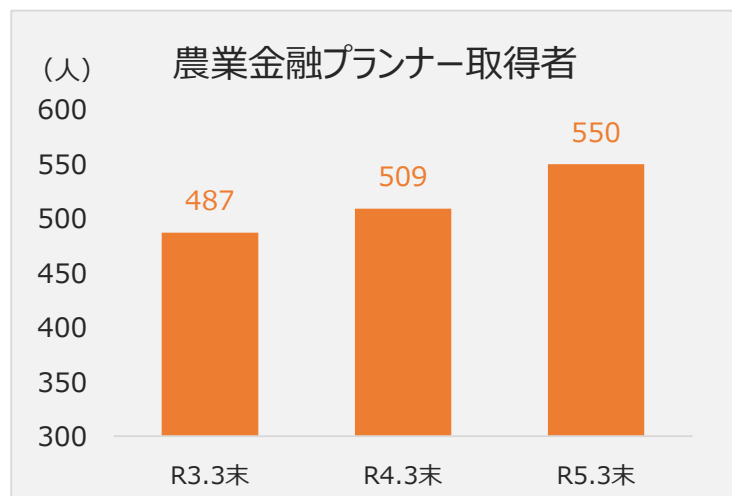
1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み②

- 長野県JAバンクでは、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくため、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。
- 令和5年3月末時点において、**JAバンク農業金融プランナー**（※1）は**550名**、**農業経営アドバイザー**（※2）は**167名**が取得しています。

（※1） 農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

（※2） 農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年に創設した人材育成制度です。



1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み③

【令和4年度実績】

事業名	概要	実績	
		件数	助成額
農業近代化資金 保証料助成事業	「農業近代化資金」借入時に必要な長野県農業信用基金協会保証料の全額を助成	103件	15百万円
戦略資金 保証料助成事業	「戦略資金(※)」借入時に必要な長野県農業信用基金協会保証料の全額を助成 (※) JAアグリマイティローン、JA農機ハウスローン、その他JA独自資金	577件	36百万円
新型コロナウイルス感染症対策 資金保証料助成事業	「新型コロナウイルス感染症対策資金」借入時に必要な長野県農業信用基金協会保証料の全額を助成	28件	0.5百万円

事業名	概要	実績	
		件数	助成額
JAバンク利子補給事業	農業資金借入時にJAグループが金利の一部を負担することにより、借入者の金利負担を軽減 (※) JAアグリマイティローン、JA農機ハウスローン、その他JA独自資金	3,402件	53百万円

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

JA内部部門間連携の強化

- 平成29年度より、信連職員が講師となり、JA向け「**農業融資カスタム研修会**」(旧：農業融資パッケージ研修会)を開催しています。参加者は、金融部門職員にとどまらず営農・経済部門の職員を対象としており、研修会を通じて、連携強化を図っています。
- 令和4年度末現在で延べ3,799名が参加しています。

農業融資カスタム研修会

内容	● 農業資金の全体概要 ● 農業経営改善資金計画書作成演習 ● 農業近代化資金の詳細説明等
対象者	JA職員（金融・営農・経済部門の幅広い職員が対象）
講師	長野県信連農業部職員
研修会場	各JAで実施（講師が各JAへ訪問） またはWEB会議システムにより実施



4. 地域密着型金融の取組事例について

講演会・セミナー等の開催

- 長野県JAバンクでは、地域の方々の幅広い知識の習得を目的として、各種講演会やセミナーを開催しております。

講演会 セミナー名	開催日	主催者	内容等
インボイス制度導入 勉強会セミナー	R4.4.27	長野県信連	インボイス制度の概要、制度導入による影響等 について
知的財産活用セミナー	R4.9.20	長野県信連	知的財産を活用したブランドづくりについて
コロナ禍における目の付け所・ 税務セミナー	R4.9.27	長野県信連	Withコロナ時代における事業展開について
D X 基礎セミナー	R4.11.8	長野県信連	DXのポイントとビジネスモデルの変革について
長野県信連 食農セミナー	R5.1.7	長野県信連	題目：ワインづくりを通じた地域活性化の取組 と新たな挑戦

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

長野県JAバンクでは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取り組みを行っています。

次世代農業者の育成支援

農商工連携の推進

被災者への支援

経営不振農家の経営改善支援

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

次世代農業者の育成支援

- 長野県JAバンクでは、新規就農者の農業経営と生活をサポートするため、新規就農者向けの様々な商品を取り扱っています。

【新規就農者向け資金の取扱実績】

令和4年度実績	新規実行		3月末残高
	件数	実行額	
青年等就農資金	77件	364百万円	1,975百万円
就農支援資金（※）	—	—	43百万円
JA新規就農応援資金	18件	56百万円	146百万円
その他資金	21件	55百万円	146百万円
合計	116件	475百万円	2,310百万円

（※）青年等就農資金の前身の資金であり、現在新規実行の取り扱いはありません。

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

農商工連携の推進

- 長野県JAバンクでは、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会による販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「**農業者と産業界の架け橋**」としての機能を発揮しています。
- しかし、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、いずれの商談会も中止となりました。新型コロナウイルス感染症の終息後、再び機能を発揮できるよう準備し、取り組んで参ります。

【JA長野県グループいきいき信州！農畜産物個別商談会】

目的	「長野県の食の魅力・思いを発信する場」 「バイヤーの皆様から市場の声を聞く場」
主催	長野県信連

【JA・JFグループ北信越商談会】

目的	北陸新幹線（長野経由）延伸によって直結した 北陸地方の市場開拓
主催	JAバンク・JFマリンバンク



2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

被災者への支援①

- 長野県JAバンクでは、被災者支援のため、災害対策窓口を設置や災害対策資金の創設等の対応を行いました。

災害等事象	JA	資金名	資金概要	令和4年度新規実行	
				件数	実行額
災害対策	長野県JAバンク	アグリマイティーローン（災害緊急資金）	● 令和4年5月の降雹害により農畜産物の被害を受けた組合員に対し、JAバンク利子補給により低利の資金を対応。	7件	31百万円
新型コロナウイルス感染症	長野県JAバンク	アグリマイティーローン（災害緊急資金）	● 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた組合員に対し、JAバンク利子補給により低利の資金を対応。	29件	119百万円
		セーフティネット資金	● セーフティネット資金にて対応。	48件	442百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

被災者への支援②

災害等事象	JA	資金名	資金概要	令和4年度新規実行	
				件数	実行額
その他	JAながの	山ノ内町がんばる農業応援資金	農業者が経営の近代化・安定化・経営の規模拡大・効率化及び災害に伴う経営復興を図るとき、また、後継者及び新規就農者が農業を営む上で必要な資金を融資をする事を目的とし、町とJAからの利子助成により低利な金利で対応。	22件	47百万円
	JAながの	菌茸季節対応資金・きのご特別運転資金	競合産地の増加等により、菌茸販売価格は低迷し、加えて季節的に販売価格差が顕著に現れており、経営に重大な影響が出ている。菌茸生産農家からは季節的に資金の枯渇するときの対応の要請があり、果樹生産農家の前渡金制度の代わりとなる資金対応を行い、菌茸生産農家の経営安定を図りました。	8件	24百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

生産資材等価格高騰影響にかかる支援

事象	JA	資金名	資金概要	令和4年度新規実行	
				件数	実行額
生産資材等 価格高騰	長野県 JAバンク	生産資材等 価格高騰対 策資金（災 害緊急資 金）	ウクライナ情勢等を起因とした生産資材価格高騰の影響を受けた組合員に対し、JAグループにより利子補給および保証料助成を活用できる資金により対応。	128件	686百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

経営不振農家の経営改善支援

- 長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営支援に取り組んでいます。

【経営不振農業者の経営改善支援等の取組実績】

		期初経営 改善支援 取組先 A (先数)	Aのうち再生計画を 策定した先数 a	Aのうち期末に債務 者区分がランクアップ した先数 b	Aのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先数 c	再生計画策定率 = a/A	ランクアップ率 = b/A
正常先①		20	0	0	20	0.0%	—
要 注 意 先	うちその他要注意先②	31	1	0	31	3.2%	0.0%
	うち要管理先③	2	0	0	2	0.0%	0.0%
破綻懸念先④		45	13	0	45	28.9%	0.0%
実質破綻先⑤		17	1	0	17	5.9%	0.0%
破綻先⑥		0	0	0	0	—	—
小計(②～⑥の計)		95	15	0	95	15.8%	0.0%
合計		115	15	0	115	13.8%	0.0%

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

資本供与の取り組み（ファンドの活用）

動産担保融資の活用

負債整理資金による経営支援

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取り組み（ファンドの活用）

- 長野県JAバンクでは、農業振興や環境に貢献する取り組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

【アグリシードファンド活用実績】

出資件数	出資額
14件	134百万円



農業法人のみなさまへ

アグリシードファンド

新たな農業法人の成長のための仕組み

●JAバンクでは、農業法人投資育成制度を実施するアグリビジネス投資育成株式会社（以下、アグリ社）と連携し、農業法人のみなさまにとってより活用しやすい資本をご提供（議決権のない資本※1、※2）の仕組みを新設いたしました。

●以下の基準に該当されるお客様は、アグリ社による投資育成制度を活用し、自己資本を増強することが可能です。（ただし、アグリ社による個別審査があります。※3、※4）

基本的な条件

- 農業法人もしくは農業に関する事業を営む法人であること
- 会計は簿式簿記により行っていること
- 計算書類を年に1回以上作成していること など（※5）

※1 100万円以内の資本ニーズにお応えする「アグリシードファンド」ための条件（全て該当）

- 前回の決算において債務超過でないこと（5年以内に無償可能な債務超過含む）
- 経営利益は過去3年連続でゼロでないこと
- 経営者が農業関連事業の経験者であること
- 金融機関からの借入金の返済は当期条件より優遇していること（当期条件より優遇していても、期満時に返済の滞りが発生していること）

※2 100万円を超える資本ニーズにお応えするための条件（全て該当）

- 前回の決算において債務超過でないこと
- 経営利益は過去3年平均すると赤字であること
- 経営者に相当する技術に相当する経験を有する者が従事すること
- 法人設立当時の実績があること（また個人経営などでも何年かの実績があること）
- 金融機関からの借入金の返済は当期条件より優遇していること

※3 農業法人法人については、議決権付きとなります。

※4 投資額100万円未満の場合は、アグリ社からの融資の法人に対して、特約等について協議の時間をさせていただきます。

※5 信用保証のあり方については、個別にアグリ社との交渉により決定します。

※6 ご相談いただいた事業計画の達成可能性について、アグリ社が検討させていただきます。

※7 本制度を利用してもアグリ社からの融資を受ける必要はありません。

動産担保融資の活用

- 長野県JAバンクでは、農畜産物や機械・設備などの動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取り組みを行っております。

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

負債整理資金による経営支援

- 長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【令和4年度負債整理資金の貸出実績】

資金名	令和4年度新規実行		3月末残高
	件数	実行額	
農業経営負担軽減支援資金	0件	0百万円	16百万円
畜産特別資金	1件	84百万円	236百万円
その他	0件	0百万円	339百万円
合計	0件	0百万円	591百万円

【農業経営負担軽減支援資金】

営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

【畜産特別資金】

過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

4. 地域密着型金融の取組事例について

- 長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。
- また、令和4年度は、「新型コロナウイルス感染症」等の影響が続いた他、農業用資材等の価格高騰など、農業者の大きな影響を与える環境の変化があったことから、その支援にかかる取り組みも行っています。

懸賞品付定期貯金「Slow風土」

県下JAの取組
～『融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ』(JA信州諏訪)～

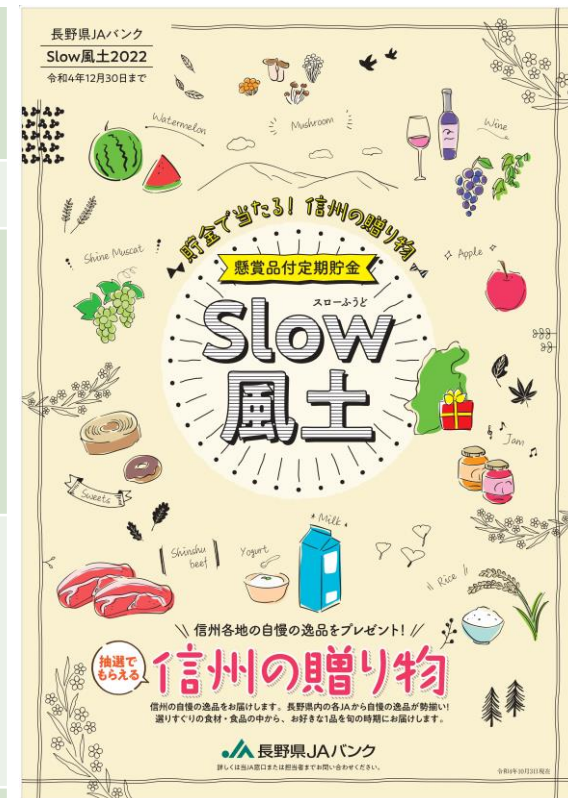
新型コロナウイルス感染症に対する支援

生産資材等価格高騰に対する支援

4. 地域密着型金融の取組事例について

懸賞品付定期貯金「Slow風土」2022

経緯	「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取り組みとして、長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow風土」（スローフード）を発売しました。
取扱期間	令和4年10月3日～12月30日
内容	・貯金の種類：スーパー定期貯金（単利型） ・預入期間：1年 ・預入金額：20万円以上 20万円を一口として抽選を行い、当選者へ20品目の中からお選びいただいた信州各地の自慢の逸品をプレゼントしました。
成果	令和4年度は募集総額300億円のお申し込みがあり、多くのお客さまに大変ご好評をいただきました。 金融商品を通じ長野県内の農産物をPRすることで、地元農産物の魅力を再確認していただき、地産地消の促進と農業所得増大への貢献を目指します。
今後の予定	今後も農業所得増大と地域活性化に向け、JAバンクを身近に感じていただける足がかりとして、引き続き実施していく予定です。



4. 地域密着型金融の取組事例について

『融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ』(JA信州諏訪)

経緯	農家の規模拡大などで事業費が高額化していることから、融資による資金調達で設備投資等を行う組合員に対して助成を行いました。
内容	融資による資金調達で設備投資等を行う組合員に対して、事業費の20%以内を2か年に亘って助成する事業。 ※単年度の助成上限額 100万円。
成果	令和4年度 実績 融資件数：14件 融資額：60,440千円
成果	当該事業は、平成28年度～平成30年度に始まり、平成31年度（令和元年度）～令和3年度まで延長。さらに令和4年度～令和6年度まで再延長。



4. 地域密着型金融の取組事例について

新型コロナウイルス感染症に対する支援

経緯	長野県JAバンクでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者の皆さまにお借り入れいただける資金として、JAアグリマイティローン(災害緊急資金)を取り扱っております。
内容	●適用事象対象：新型コロナウイルス感染症 ●借入限度額：500万円以内（令和4年5月まで。現在は1,000万円以内） ●償還期間：5年(据置2年以内) ●金利：JA所定の金利 ※年間最大1.0%のJAバンク利子補給あり。 ※利子補給後の末端金利は0.2%(実行後3年間) ※保証料については長野県信連で保証料全額助成を実施しております。
成果	令和2年3月に取り扱いを開始し、令和5年3月末時点で191件・643百万円の資金実行がありました。 <u>取扱期限の到来につき、令和5年3月末で取扱を終了しております。</u>



4. 地域密着型金融の取組事例について

生産資材等価格高騰に対する支援

経緯	長野県JAバンクでは、ウクライナ情勢悪化等に伴う原油・農業資材等価格高騰により農業経営に大きな影響を受けた農業者の皆さまにお借り入れいただける資金として、「生産資材等価格高騰対策資金」を創設しました。
内容	● 対象者：ウクライナ情勢悪化等に伴う原油・農業資材等価格高騰により直接的・間接的に影響を受けた農業者 ● 借入限度額：1,000万円以内 ● 償還期間：10年(据置3年以内) ● 金利：0.0% ※長野県信連および農林中央金庫にて利子補給（1.0%）実施しております。 ※保証料についても長野県信連および農林中央金庫で保証料全額助成を実施しております。
成果	令和5年1月に取り扱いを開始し、令和5年3月末時点で128件・686百万円の資金実行がありました。 <u>予算枠の終了につき、現在は取扱を終了しております。</u>

長野県JAバンクは、
今後も様々な取り組みを通じて
農業者と夢を共有し、
長野県農業を応援して参ります



長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です

